

第 81 回 全日本学生ヨット選手権大会

大会期日 : 平成 28 年 11 月 2 日 (水) ~平成 28 年 11 月 6 日 (日)
開催地 : 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー (〒443-0014 蒲郡市海陽町 1 丁目 7 番地)
共同主催 : 全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟
公 認 : 公益財団法人日本セーリング連盟 (承認番号 H28-18)
後 援 : 蒲郡市 中部ヨット協会 愛知県ヨット連盟 日本 470 協会 日本スナイプ協会
特別協賛 : 日建リース工業株式会社 日建レンタコム株式会社 日建片桐リース株式会社
協 賛 : 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 株式会社ゴールドウイン 蒲郡市観光協会
協 力 : 豊田自動織機海陽ヨットハーバー 株式会社ノースセールジャパン
三谷温泉旅館 平野屋

レース公示

1. 規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2013-2016』に定義された規則が適用される。
- 1.2 『全日本学生ヨット連盟規約』、『470 学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。これら申し合わせ事項は、中部学生ヨット連盟のホームページで入所可能である。<http://www.ayf.jp/school>
- 1.3 付則 P を適用する。但し、規則 P1 文中の『セール番号』は、『セール番号』又は『識別番号』と置き換える。これは、規則 P1 を変更している。
- 1.4 SCIRA 規則『国内及び国際選手権大会の運営規定』は適用しない。
- 1.5 規則 41 に以下を追加する。
『(e) 自チーム内での情報の交換』
- 1.6 規則 60.1(b) に以下を追加する。
『但し、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または障害に基づいて、救済要求を行うことはできない。』
- 1.7 次の規則を追加する。
『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第 2 章の規則違反に対するペナルティは課せられない。』

2. 競技種目

国際 470 級、国際スナイプ級

3. 参加資格および申込み

3.1 参加資格

- (1) 本大会には、各水域における予選を行い、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学チームが参加できる
- (2) 各水域の推薦枠は次の通りとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	開催地 (中部)	計
1	1	7	2	3	3	2	1	3	1	24

- (3) 参加チームの競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
- (a) 2016年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
 - (b) 全日本学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。
 - (c) 国際470級の競技者は、日本470協会の2016年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (d) 国際スナイプ級の競技者は、2016年度SCIRA会員であること。
- (4) 参加チームの監督およびコーチは、2016年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。

3.2 参加申込み

- (1) 参加申込書－1、参加申込書－2（競技者名簿）、参加申込書－3（支援艇許可申請書）に必要事項を記入の上、次の書類を添付し、平成28年10月4日（月）必着で以下に郵送すること。
ただし、郵送にて間に合わない場合は、郵送先担当者に電話連絡するとともに平成28年10月4日17時までにE-Mailでの提出を可能とする。この場合であっても参加申込書類は、最短で届けられるように郵送すること。
- (a) 添付すべき書類：
- ・参加申込書に記載した競技者全員の『2016年度（公財）日本セーリング連盟メンバーカード』の写し
 - ・国際スナイプ級の競技者は、『SCIRAへのメンバー登録完了証明書』の写し
- (b) 郵送先： 第81回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会：大島 旭
〒454-0048 愛知県名古屋市中川区元中野町3-80
E-Mail：chubu_icyf@yahoo.co.jp
電話番号：090-090-4110-8710
- (2) 参加申込書－2（競技者名簿）は、3.2（1）とは別に、エクセル形式で作成したものを上記宛先に平成28年10月4日（月）必着でメールに添付し送付すること。
- (3) 期日を過ぎてからの参加申込み（書類の不足または不備を含む）、艇および競技者の追加変更登録は認めない。

4. 参加料

4.1 参加料等は次の通りとする。

- (1) 参加料 : 1校／1クラス 60,000円
- (2) 識別番号代 : 1校／1クラス（3艇分）6,300円
予備艇を準備する場合は、1艇2,100円追加する。
- (3) 施設使用料 : レース艇および予備艇の施設使用料は、各大学で手続きおよび支払を海陽ヨットハーバーに行うこと。
ただし11月3日から6日の給水設備使用料は、参加費に含む。
支援艇については、各大学で手続き支払をすること。

4.2 振込期日：平成28年10月4日（月）

4.3 振込先：三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番532 普通0090143

全日本学生ヨット選手権（ゼンニホンガクセイヨットセンシュケン）

※銀行では、「チュウブガクセイヨットレンメイ イシクラ トシヒロ」で表示されることがある。

5. 艇

- 5.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。
- 5.2 艇は、原則として参加チームの所有艇とするが、参加チームが手配したチャーター艇も認める。
- 5.3 国際スナイプ級の艇は、2016年度 SCIRA 登録を完了していること。
- 5.4 予備艇の使用は、艇の破損による場合のみとし、事前にレース委員会の許可を得なければならない。
- 5.5 艇体には【添付図A】に示す『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示をしなければならない。

6. セール

- 6.1 各チームが用意した1チーム3セットとする。なお、各チームとも1セットの予備セールを認める。
- 6.2 国際470級のセールは、基本計測を完了していなければならない。
- 6.3 国際スナイプ級のセールは、2016年の年度計測を完了していなければならない。
- 6.4 同一のセール番号を同時に使用してはならない。
各クラス協会に登録されたセール番号以外の番号を使用してはならない。
- 6.5 国際470級のメイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- 6.6 予備セールの使用は、セールの紛失または補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。
- 6.7 識別番号は、受付時に配布する。

7. 日程

- 7.1 受付（登録） 平成28年11月2日（水） 10:00 ～ 13:00
- 7.2 大会計測 平成28年11月2日（水） 10:20 ～ 17:00
- 7.3 主将会議 平成28年11月2日（水） 14:30 ～ 15:00
- 7.4 開会式 平成28年11月2日（水） 16:00 ～ 16:30
- 7.6 予定されるレース日程とレース数は次の通りとする。

日付	国際470級	国際スナイプ級
11月3日（木・祝）	3	3
11月4日（金）	3	3
11月5日（土）	3	3
11月6日（日）	2	2
合計レース数	11	11

- 7.7 11月3日（木）・11月4日（金）・11月5日（土）は、最大4レースを行うことがある。
- 7.8 それぞれの日の最初の国際470級の予告信号の予定時刻は10:00とし、国際スナイプ級はその後に適宜発せられる。
- 7.9 11月6日（日）は12:00より後に予告信号を発せられない。
- 7.10 表彰式と閉会式は、平成28年11月6日（日）15:30より行う。

8. 計測

- 8.1 参加チームは、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書を受付時に提示しなければならない。
- 8.2 各チームは、艇体およびセール（予備艇、予備セール含む）に関する各水域のオフィシャル・メジャーラーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提出するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはならない。計測後に修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
- 8.3 各水域でやむを得ず計測ができなかったときやレース委員会が指定した計測を除き、新たにセール等の計測を大会で実施する場合は、計測料として3,000円を支払うこと。この場合、理由によっては大会での計測は行わない。（受け付けられない理由例：至近で新たにセールを購入して届いたら等の理由）

9. 受付

参加チームは、大会本部で次の書類を提示し、受付を完了しなければならない。

- (a) 参加競技者の（公財）日本セーリング連盟会員証（原本）。
- (b) 監督・コーチの（公財）日本セーリング連盟会員証の原本またはコピー。
- (c) 国際470級は、計測登録証明書およびINTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書（原本）も提示しなければならない。
- (d) 国際スナイプ級の競技者は、SCIRAへのメンバー登録完了証明書（原本）。
- (e) 国際スナイプ級は、計測証明書。

10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は、平成28年9月30日（金）までに愛知県ヨット連盟ホームページにアップおよび各水域学連 委員長宛に送付する。
- 10.2 帆走指示書に対する質問は、平成28年10月20日（木）必着で大会事務局に送付すること。
送付先：参加申込み先と同じ
- 10.3 質問に対する回答は、公式掲示板に掲示する。

11. レース海面

- 11.1 【添付図B】は、レース海面の場所を示す。

12. コース

- 12.1 【添付図C】に、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 12.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇に艇が帆走するコースおよび、最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

13. 得点

- 13.1 大会の成立には、3レースを完了することが必要である。
- 13.2 クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、より得点の低いチームを上位とする。この項は、規則A2を変更している。
- 13.3 総合得点は、両クラスに参加した大学の両クラス全ての得点の合計とし、より得点の低い大学を上位とし、その次の順位を欠位とする。
- 13.4 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えて適用する。
- 13.5 総合の得点がタイとなった場合には、その大学は同位とする。

14. 安全規定

- 14.1 Y旗が陸上で掲揚された場合、水上にいる間は常に規則40を適用する。この項は、規則第4章前文を変更している。
- 14.2 国際スナイプ級は、直径8mm以上で長さ15m以上の曳船用ロープを搭載していなければならない。また、十分な推進力を得ることのできるパドルを搭載していなければならない。

15. 支援艇・応援艇

- 15.1 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、受付時に、「参加申込書-3」として郵送した「支援艇・応援艇許可申請書」のコピーを提出してレース委員会に登録し、「支援艇・応援艇許可証」を受け取らなければならない。
- 15.2 支援艇・応援艇とは、監督、コーチ、その他の支援要員及びチームを支援・応援する関係者が乗艇する全ての艇を指す。
- 15.3 豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇・応援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。インフレーター・ボートは毎日上架しなければならない。また、豊田自動織機海陽ヨットハーバー以外より持ち込んだ支援艇・応援艇は、1回あたり15分を越えて豊田自動織機海陽ヨットハーバー内の棧橋に係留してはならない。
- 15.4 海陽ヨットハーバーに一時的でも入港する支援艇・応援艇は、海陽ヨットハーバーの所定の手続きを行い、使用料を支払うこと。
- 15.5 支援艇・応援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する識別用リボンを目立つように掲揚しなければならない。
『識別用リボン』は、水面より1m以上の高さに掲揚するとともに、支給する『大学名を記した表示』を目立つように掲示しなければならない。
- 15.6 支援艇・応援艇は、レース委員会及びプロテスト委員会の無線を傍受してはならない。
- 15.7 本項に違反した場合、またはレース委員会の指示に従わなかった支援艇・応援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇・応援艇に関わるチームの全レース艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。

16. 賞

賞は次のように与える。

クラス	優勝旗	賞状	賞品
国際470級	1位	1位～6位	1位～3位
国際スナイプ級	1位	1位～6位	1位～3位
総合	1位	1位～6位	1位～3位

17. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースすることの決定」参照。

主催団体は、レガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

18. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。また、これらはインターネット等で公開されることがある。

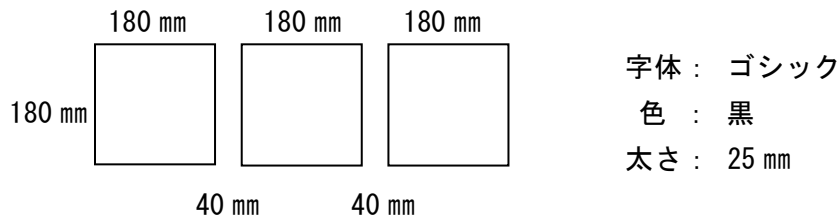
19. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下の通りとする。

第81回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会：木原 一憲

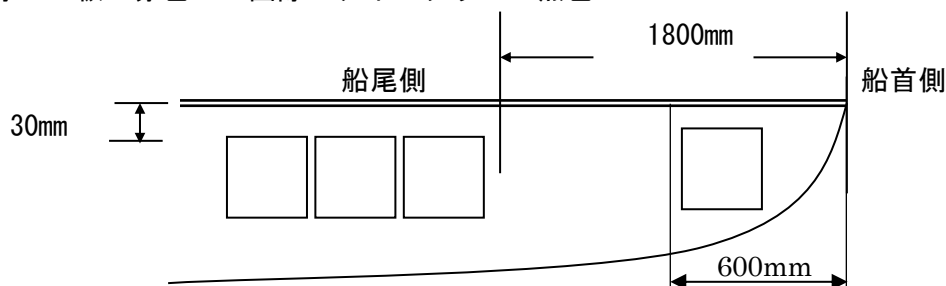
Tel 090-4114-9706

【添付図A】艇体および識別番号貼付位置



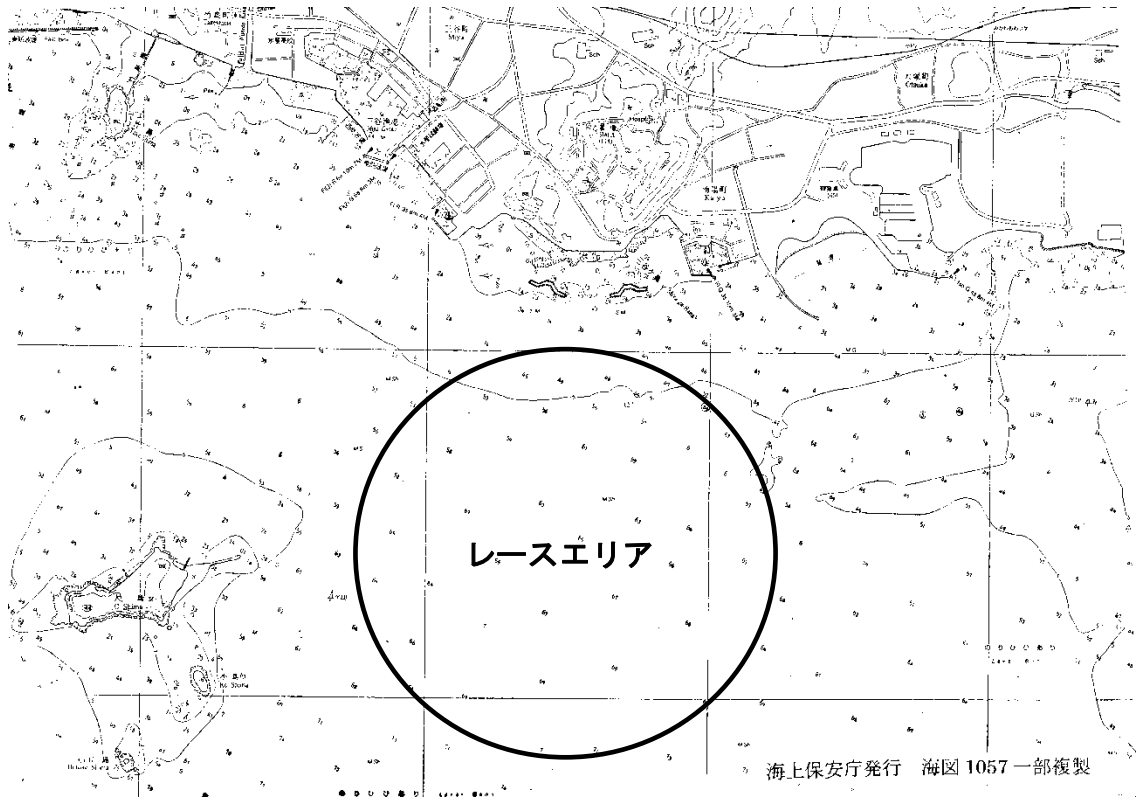
- ・大学名シールは、各大学（または水域）で作成する。
- ・貼付位置は前部デッキのステムから後方1800mmより後ろ近い部分の両側板部分とする。ただし、文字の大きさは180mm以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可とする。
- ・バウの先端から、600mmの間に識別番号を張り付ける。

国際470級：赤色 国際スナイプクラス：黒色

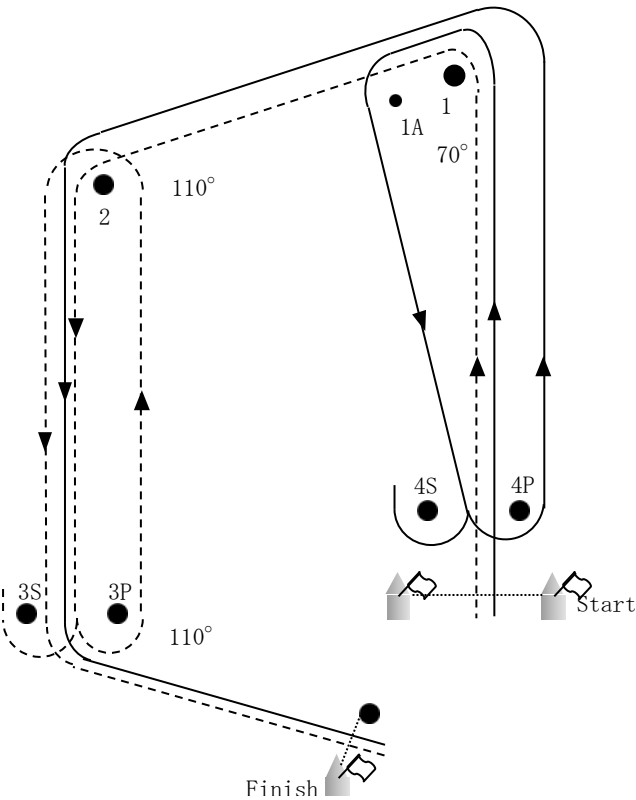


* 取り付け位置の若干の誤差は無視する。

【添付図B】 レースエリア



【添付図C】 コース見取り図



【コース 02】 START → M1 → M2 → 3P/3S → M2 → 3P → FINISH

【コース IA2】 START → M1 → M1A → 4P/4S → M1 → M2 → 3P → FINISH